

試合番号 : 222	試合会場 : ユメックスアリーナ (塩尻市総合体育館)	観客数 : 0
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:21	試合時間 : 01:21
主審 : 慈眼 雅啓	副審 : 高橋 宏明	
VC長野トライデンツ 通算 1勝 24敗 ポイント : 4	21 第1セット 25 18 第2セット 25 21 第3セット 25 第4セット 第5セット	堺ブレイザーズ 通算 17勝 8敗 ポイント : 52
監督コメント このコロナ禍の中、大会の開催にご協力いただいているすべての関係者の皆様へ厚く御礼申し上げます。試合が1週間空いたので、自分たちの課題の改善及び堺対策の準備をして試合に臨みました。準備してきたものが効果を発揮する局面もありましたが、継続することができず試合の流れを掴むことができませんでした。今日出た課題を改善し明日の試合に臨みます。本日は応援ありがとうございます。明日も応援よろしくお祈りします。	0	3 監督コメント 久しぶりの勝利となりましたが、まずは3ポイントの勝利ができて良かったです。明日もしっかり自分たちのバレーをして、連勝できるよう準備をして臨みます。リモートマッチとなりましたが、明日も応援よろしくお祈りします。
要約レポート 会場を山梨県から長野県に移してのVC長野トライデンツと堺ブレイザーズの対戦。第1セット、リモートマッチは静かな雰囲気の中始まった。序盤から堺は高いブロックとバーノンの連続サービスエースでVC長野を突き放すが、VC長野はリヴァン、三輪を中心に攻撃を組み立て追いつける。中盤は堺が粘り強いレシーブからバーノンの2連続ブロックポイントで流れをつかみ、樋口が要所で決めてセットを先取した。第2セット、堺・深津がトスを振り分け流れを作る。VC長野はリヴァンにボールを集めるがポイントには至らない。終盤、VC長野・池田(幸)が意地を見せるが、攻撃力で勝る堺がペースを崩すことなくセットを連取した。第3セット、堺・竹元の連続ブロックポイントから堺の4連続得点で始まった。VC長野は最後までペースをつかむことができず、このセットも堺が取りセットカウント3-0で堺が勝利した。		

試合番号 : 223	試合会場 : 三島市民体育館	観客数 : 350
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:25	試合時間 : 01:25
主審 : 新田 浩幸	副審 : 澤 達大	
東レアローズ 通算 17勝 8敗 ポイント : 52	25 第1セット 23 25 第2セット 21 25 第3セット 22 第4セット 第5セット	大分三好ヴァイセアドラー 通算 5勝 20敗 ポイント : 13
監督コメント コロナ禍の中、三島ホームゲームを開催するためにご尽力をくださった皆さん本当にありがとうございます。この中で試合できたことに感謝したいと思います。今日の試合は、我々のサーブとブロックが良く機能していたと思います。まだ、コンビネーションの所は修正する場面が多いので、明日に向けて準備していきます。本日は、たくさんの応援ありがとうございます。	3	0 監督コメント 今日はコロナ禍の中、応援ありがとうございます。また、関係者の皆様にもとても感謝しています。第1セットからスパイクミスとサーブミスで自分達の展開に持ち込むことができませんでした。自分たちが勝つためにやらねばいけないことを明確化し、今日の反省を明日に活かしていきたいです。明日もチーム一丸になって戦い抜きたいです。今後とも、大分三好ヴァイセアドラーの応援よろしくお祈りします。
要約レポート お互い連敗を断ち切りたい東レアローズと大分三好ヴァイセアドラーの対戦。第1セット、東レはセッター酒井がバダルを中心に攻撃を組み立て、攻守ともに堅実なプレーで得点差を徐々に広げた。大分三好もエメルソンが連続スパイクやサービスエースで得点し、9点差から追いつき、23-23で東レに追いついた。最後は東レ手塚がスパイクを決め、サーブで相手のサーブレシーブを崩し、25-23でこのセットを先取した。第2セット、大分三好は序盤からバグナスが連続ブロックで東レ・バダルの攻撃を封じ、エメルソンと共にスパイクを決めて得点を重ねる。東レは富田と李の攻撃で応戦し、メンバーチェンジで投入されたセンター西本がブロックやクイックを決めると、5点差をつけて一歩リードし、そのまま25-21でこのセットを連取した。第3セット、大分三好はエメルソンとバグナスを中心としたパワフルな攻撃、東レはバックアタックを織り交ぜたコンビ攻撃で得点を重ね、一進一退の攻防が続いた。東レは、第2セットと同様にメンバーチェンジで投入された西本がブロックを決めて一歩抜け出すと、富田がコースをついたスパイクを決めて25-22でこのセットを取り、セットカウント3-0で勝利した。		

試合番号 : 225	試合会場 : パナソニックアリーナ	観客数 : 987
開始時間 : 14:00	終了時間 : 15:17	試合時間 : 01:17
主審 : 浅井 唯由	副審 : 沢田 元	
パナソニックパンサーズ 通算 16勝 7敗 ポイント : 49	25 第1セット 19 25 第2セット 13 25 第3セット 19 第4セット 第5セット	JTサンダーズ広島 通算 10勝 15敗 ポイント : 33
監督コメント パナソニックアリーナで良い試合をして勝てたことは嬉しく思います。ミスが少なくチームワークも素晴らしくほぼ完璧な試合でした。明日の試合もしっかり準備して挑みます。	3	0 監督コメント パナソニックの緩急をつけたサーブに対応しきれずブレイクを取られてしまい、自分たちのリズムがつかめないままに終わってしまいました。明日に向け、まずはコートにおける自分の役割を確認し、戦う気持ちを相手以上に持ち、最後まで戦いたいと思います。本日も応援ありがとうございます。
要約レポート パナソニックパンサーズがJTサンダーズ広島を迎えるホームゲーム。第1セット、パナソニックはセッター深津が山内、小宮の両ミドルブロッカーの連攻を巧く使い、点を重ねた。JT広島は中島のサービスエースで差をつめるものの、パナソニックは、クビアクの連続サービスエースなどで徐々に差を広げ、セットを先取した。第2セット、セッターを代えるなど攻撃を立て直したいJT広島だったが、パナソニックは、大塚のサービスエースや大竹のバックアタックなど攻撃の手を緩めることなく、セットを連取した。第3セット、後がないJT広島は、エドガーの強烈なサーブやバックアタックなどの活躍で序盤はリードを奪うも、パナソニックは中盤、大竹のサービスエースなどで逆点する。最後は、山内が強烈な連攻を決めてストレートで勝利し、ファイナルステージ進出に向けて白星を重ねた。		

試合番号 :	試合会場 :	観客数 :
開始時間 :	終了時間 :	試合時間 :
主審 :	副審 :	
通算 -勝 -敗 ポイント : -	第1セット	通算 -勝 -敗 ポイント : -
監督コメント	第2セット	監督コメント
	第3セット	
	第4セット	
	第5セット	
	第5セット	
要約レポート		